

【 第21回全日本ビーチハンドボール選手権 】

2019年7月20日～7月21日 愛知県碧南市・碧南緑地ビーチコート

試合結果報告 7月21日(日) 男子3位決定戦

BBJ	VS	MJクラブ
0(12)	1st	1(16)
1(16)	2nd	0(14)
0(6)	Shoot Out	1(8)
1(34)	合計	2(38)

BBJ

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
緒方雄人	2	2	0	4
高野克也	2	6	0	8
小川航世	0	0	0	0
前田祐希	0	0	2	2
松永健	2	0	2	4
高良優樹	2	6	2	10
大橋慶	2	2	0	4
奥野晃宇	2	0	0	2
小松大地	0	0	0	0
合計	12	16	6	34

MJクラブ

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
武野 量介	0	0	0	0
大場 翔太	6	2	2	10
橋野 太一	0	8	2	10
夏目 真彰	0	0	0	0
高木 大輔	4	0	0	4
海上 智史	0	0	0	0
金田 武	0	2	0	2
彦坂 英伺	0	0	2	2
比嘉 一磨	6	2	2	10
合計	16	14	8	38

戦評:

第1セットは、ジャンプボールをMJクラブが取り、#15高木の2点シュートでスタート。その後も#14比嘉、#15高木、#13大場が着実に得点を重ねる。BBJは、シュートミス、チャージングなどでなかなか得点できず。しかし、#6高良のスピンシュート、#2高野のスカイシュートで加点。両チームとも精度の高いシュートで加点していく。BBJ#5松永、#10奥野のシュートで4点差とする。残り1分16秒でBBJがタイムアウト、残り30秒でMJクラブがタイムアウト。お互い攻めあぐね16-12で第1セットはMJクラブが取る。第2セットは、MJクラブ#14比嘉のスペシャリストシュートで始まる。その後も連続得点で6-0とリード。BBJはシュートミスが続くが、#6高良のスピンシュートでくらくらく。お互い激しいプレーで目まぐるしく、早い展開となる。BBJはスカイプレーでくらくらくも、MJクラブ#7橋野の正確なシュートで突き放す。BBJも#6高良の滞空時間の長いスピンシュートで加点。残り3分を切り、BBJ#3が2回目の退場で失格。BBJ#5松永がフェイントで相手をかかわすもシュートは枠外へ。残り5秒でBBJ#1緒方のスピンシュートが決まり同点となり、ゴールデンゴールへ。ジャンプボールはMJクラブが触るもサイドラインを割り、BBJのボールとなり、そのまま#2高野のシュートが決まり、第2セットはBBJが取る。シュートアウトは、MJクラブの先攻で始まる。MJクラブが3人目#1金田が外し、BBJは4人目#1緒方が外し、6-6。BBJ5人目#9大橋が外し、MJクラブの勝利。見ごたえのあるパワフルなゲームであった。

報告記入者 :

山本 繁

【 第21回全日本ビーチハンドボール選手権 】

2019年7月20日～7月21日 愛知県碧南市・碧南緑地ビーチコート

試合結果報告 7月21日(日) 女子第9試合

東海Weeds!	VS	ハミングバード
1(11)	1st	0(6)
1(10)	2nd	0(6)
0(0)	Shoot Out	0(0)
2(21)	合計	0(12)

東海Weeds!

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
長谷川瑛美	6	3	0	9
森上真樹	0	0	0	0
中野道依	0	0	0	0
島村梢	0	0	0	0
横井理沙	0	0	0	0
菅沼倫子	0	1	0	1
河合里実	4	2	0	6
矢原里夏	0	2	0	2
川畑博美	1	2	0	3
	0	0	0	0
合計	11	10	0	21

ハミングバード

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
伊賀 千浩	2	0	0	2
河口 望愛	2	2	0	4
金田 麗華	2	2	0	4
中島 杏菜	0	2	0	2
宮本 さつき	0	0	0	0
山本 真菜	0	0	0	0
青山 和美	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
合計	6	6	0	12

戦評:

第1セット、立ち上がり、固さが目立つ両チーム、開始から5分で2-2とロースコアの展開となる。ハミングバードの不正交代で流れが変わるかと思われたが、お互いにミスが続き、得点が伸びない。残り2分、#2長谷川のスカイシュートと#4河合のスペシャリストシュートで連続得点を挙げ、東海Weeds!が11-6として第1セットを取る。

第2セット、反撃を試みるハミングバードであったが、#1GK矢原の攻守に阻まれ、苦しい展開となる。多彩な攻撃を見せる東海Weeds!が5分で6-0とリードする。ディフェンスにおいても#9川畑が3本連続でシュートシャットをし、ハミングバードの攻撃を食い止める。ハミングバードも#7河口、#11金田のスピンシュートで応戦するも追いつけず、10-6で東海Weeds!が第2セットも取り、勝利した。

報告記入者 :

辻 昇一

【 第21回全日本ビーチハンドボール選手権 】

2019年7月20日～7月21日 愛知県碧南市・碧南緑地ビーチコート

試合結果報告 7月21日(日) 男子決勝戦

東海Weeds!B	VS	東海Weeds!A
0(10)	1st	1(20)
1(18)	2nd	0(10)
0(8)	Shoot Out	1(10)
1(36)	合計	2(40)

東海Weeds!B

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
柴垣有志	0	0	0	0
小林康裕	0	2	2	4
宮澤悠太	0	2	0	2
林太英	6	6	4	16
澤田拓実	2	4	2	8
金谷康太	2	0	0	2
岸田博昌	0	0	0	0
加藤大暉	0	4	0	4
	0	0	0	0
	0	0	0	0
合計	10	18	8	36

東海Weeds!A

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
水井俊文	0	0	0	0
高橋宏治	4	2	2	8
中野陽平	8	0	2	10
島田恭輔	0	2	0	2
伊藤圭佑	2	0	0	2
中野雄太	0	0	0	0
小川豪嗣	2	2	2	6
中原直人	4	4	4	12
	0	0	0	0
	0	0	0	0
合計	20	10	10	40

戦評:

第1セットは、東海Weeds!A#8中原のスピッシュで始まる。#5伊藤のダイレクトシュートで4-0とする。東海Weeds!Bも#4林のスピッシュで追いつける。その後、お互いにスペシャリストシュートが決まり、一進一退のゲームとなる。東海Weeds!Aは#2高橋のスカイシュート、#8中原のスピッシュでリードを広げる。東海Weeds!Aは#3中野陽のスペシャリストシュートが決まり、#5GK伊藤の好セーブもあり、10-20で東海Weeds!Aが第1セットを取る。

第2セットは、東海Weeds!B#8加藤のスペシャリストシュートで始まる。#3GK宮澤の好セーブ&ダイレクトシュートでリードを広げ、5分で8-0の展開に。残り1分20秒で16-6と東海Weeds!Bが大きくリード。東海Weeds!Bのポストプレーが決まり、逆に東海Weeds!Aのポストは厳しいマークに合い、思うようなプレーができなかった。18-10で第2セットは東海Weeds!Bが取り、シュートアウトへ。

シュートアウトは東海Weeds!Bが先攻で始まる。6-4と東海Weeds!Bが2点リードで5人目を迎え、#8加藤のシュートは枠の外へ。東海Weeds!A#3中野が落ち着いてスピッシュを決め、サドンデスの延長戦へ。先攻後攻が入れ替わり、8人目までもつれ込むと、東海Weeds!A#8中原がスピッシュを決め、GKに入った#3中野陽が積極的に前に出て間合いを詰め、東海Weeds!B#2小川のシュートは枠の外となり、東海Weeds!Aが勝利し、愛知県勢200個目の全国優勝を達成した。

報告記入者 :

山本 繁

【 第21回全日本ビーチハンドボール選手権 】

2019年7月20日～7月21日 愛知県碧南市・碧南緑地ビーチコート

試合結果報告 7月21日(日) 女子第10試合

日本体育大学	VS	KUNOICHI
0(7)	1st	1(18)
0(18)	2nd	1(20)
0(0)	Shoot Out	0(0)
0(25)	合計	2(38)

日本体育大学

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
行本 朱里	2	2	0	4
江口 綾香	0	0	0	0
鈴木 姫らら	0	10	0	10
成嶋 美優	0	2	0	2
渡邊 千夏	3	3	0	6
久保 奈津季	0	0	0	0
清水 杏夏	0	0	0	0
村上 優梨	0	0	0	0
宮里 真帆	2	1	0	3
	0	0	0	0
合計	7	18	0	25

KUNOICHI

名前	1st	2nd	Shoot Out	合計
中谷香織	6	6	0	12
柴田万緒	0	0	0	0
森田恭子	0	0	0	0
谷川祥子	4	6	0	10
星野美佳	2	4	0	6
加藤真彩	6	2	0	8
櫻井香清	0	2	0	2
大谷萌	0	0	0	0
青山紗弓	0	0	0	0
芝奈津実	0	0	0	0
合計	18	20	0	38

戦評:

第1セット、KUNOICHIの#4谷川の2点シュートからゲームスタート。日本体育大学は、1本目のシュートがなかなか決まらず、リズムが掴めなかった。KUNOICHIの#2柴田、#3森田のシュートショットが冴え、日本体育大学のシュートが阻止され、#1中谷、#5星野のスカイプレーで得点を重ねたKUNOICHIが第1セットを取った。

第2セット、KUNOICHI#1中谷、#6加藤のスピッシュュートで先行すると、日本体育大学は、#5渡邊が1点シュートを決め、嫌なリズムを払拭すると、お互い点を取り合いシーソーゲームとなる。日本体育大学はスカイシュートの際に得たペナルティシュートを#4成嶋が決め、続いて#5渡邊がスカイシュートを決め、1点差と詰め寄る。しかし、KUNOICHI#4谷川、#5星野、#1中谷、#6加藤と立て続けに2点シュートを決め、リードを維持する。日本体育大学#3鈴木の特ダッシュシュート、#1行本のスピッシュュートで最後の最後まで粘りを見せたが、追いつけず、KUNOICHIが第2セットも取り、全勝優勝となった。

報告記入者 : 山本 沙貴